

## 1. H30年2月以降の気象経過(図1)

### <3月>気温がかなり高く、日照時間も多い

1ヶ月を通して気温が高く、月平均気温は平年差+2.4℃でした。日照は3月中旬～下旬が平年比124%と長くなりました。降水は短期間にまとまった量が降る傾向でした。3月上旬の降水量は平年比489%だった一方、3月10日～21日まで降水は無く、月降水量の合計は平年比162%でした。

### <4月上旬>気温は高く、降水量は少ない

気温は3月に引き続き平年よりも高く経過しました。日照時間・降水量は平年よりも少なく、特に降水量は平年比49%でした。

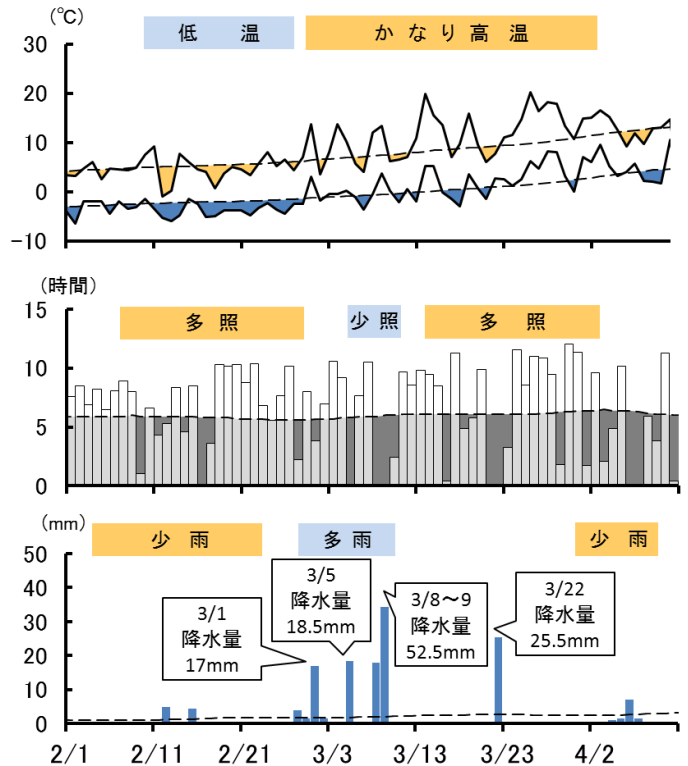


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上:最高・最低気温, 中:日照時間, 下:降水量  
 ※点線は平年値

## 2. 生育調査ほの生育状況 (4月10日現在, 表1, 下写真)

- ◆ 水沼シュンライは生育量が平年よりも大きく(多く)、幼穂長も平年並になっていますが、その他のほ場では草丈・茎数・幼穂長ともに平年よりも小さく(少なく)、2~5日程度の生育の遅れが見られました。
- ◆ 本年は管内全体的に鳥害がほとんど見られませんでした。

表1 生育調査ほにおける4月10日付け調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m <sup>2</sup> )			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	桃生中津山 (桃生)	10/28	+7	+8	18.6	-5	-8	433	116%	81%	5.5	-4	-5
	水沼 (石巻)	10/17	-3	-0	39.4	+15	+2	864	168%	122%	20.5	+8	+1
ミノリムギ	桃生高須賀 (桃生)	11/02	+13	+12	15.2	-13	-9	172	25%	31%	2.6	-1	-5
	真野 (石巻)	10/19	-4	-6	25.5	-4	+0	474	60%	73%	6.2	-2	-3
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/13	+8	+26	16.5	-7	-7	393	35%	33%	1.3	+0	-2
	桃生榎崎 (桃生)	11/06	+13	/	17.8	-8	/	823	80%	/	1.5	+0	/

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 桃生町新田シラネコムギ調査ほは、調査3年目のため平年差・比は記載しない



シュンライ(水沼)



ミノリムギ(真野)



シラネコムギ(小船越)



シュンライ(桃生中津山)



ミノリムギ(桃生高須賀)



シラネコムギ(桃生樫崎)

表2 生育調査ほにおける生育ステージの予測

品種	調査ほ (旧市町)	播種日(月/日)			減数分裂期(月/日)			出穂期(月/日)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
シュンライ	桃生中津山 (桃生)	10/28	+7	+8	4/26	+3	+5	5/04	+0	+5
	水沼 (石巻)	10/17	-3	-0	4/15	-5	-1	4/23	-5	-1
ミノリムギ	桃生高須賀 (桃生)	11/02	+13	+12	5/03	+5	+9	5/11	+6	+8
	真野 (石巻)	10/19	-4	-6	4/26	+3	+4	5/05	+5	+4
シラネコムギ	小船越 (河北)	11/13	+8	+26	5/06	+3	+6	5/16	+1	+5
	桃生樫崎 (桃生)	11/06	+18	/	5/06	+4	/	5/15	+1	/

※ 播種日については確定日。減数分裂期以降については4月10日時点の幼穂長からの予測日。

※前年差, 平年差における+は遅れを示し, -は早まりを示す。

### 3 今後の管理

#### (1) 追肥

##### ① 減数分裂期追肥

◆ 幼穂長や止葉葉耳間長を確認し, 適期追肥を心がけましょう(前号参照)。特に, この時期は幼穂長が1日で5mm程度伸びるので, 適期を逸さないよう注意しましょう。

◆ 【大麦】追肥の遅れは硬質麦の原因となり, 品質低下を招きます。早めに作業を開始しましょう。

表3 追肥の時期と施用量の目安

追肥の種類		減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8割以上が出穂)
追肥の目的		一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	追肥時期	4月中～5月上旬	実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	
小麦	追肥時期	5月上～中旬	5月下旬
	10a当たり 施用量	窒素成分4～5kg (硫安20～25kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg) ※ ゆきちからは2倍量

※ 追肥時期は, 本年の生育状況による見込。必ずほ場毎の幼穂長や葉耳間長を確認してから追肥を行うこと。

##### ② 【小麦のみ】穂揃期追肥

◆ 出穂状況を確認し, 適期追肥を心がけましょう。

◆ 減数分裂期追肥を次ページのように増量する場合は, 穂揃期追肥は省略できます。

## シラネコムギ、ゆきちからにおける減数分裂期追肥の増量による穂揃期追肥の省略

減数分裂期追肥を次のように増量することにより、穂揃期追肥を省略し、慣行と同等の収量・品質を確保することができます(普及に移す技術第83号・89号)。

**シラネコムギ** : 10a当たり窒素成分で8~9kg (硫安現物量で40~45kg)

**ゆきちから** : 10a当たり窒素成分で10kg (硫安現物量で50kg)

### (2) 排水対策 : 麦類は茎立ち以降、**湿害に弱く**ないです

- ◆ 暗きよの水閘が閉じているほ場がないか、再点検しましょう。
- ◆ 明渠が崩れていないか確認し、必要に応じ手直しをしましょう。
- ◆ 大雨の後にはほ場を巡回して、排水溝に稲わらなどが詰まっていないか確認しましょう。

### (3) 赤かび病防除

- ◆ 赤かび病防除は、**防除時期(特に1回目)が重要**です。
- ◆ 基本は2回防除です。ただし、**降雨が続く場合**や「**ゆきちから**」の場合は**3回**の防除が必要です。

**1回目** : 開花始期~開花期

**2回目** : 1回目の7~10日後

(**3回目** : 2回目の7~10日後)

★ 開花始期~開花期の大まかな目安 ★

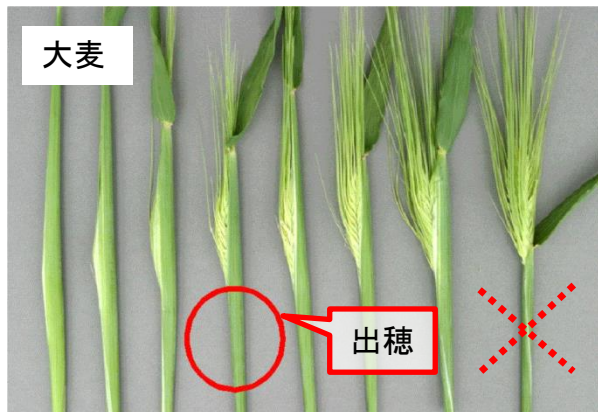
【大麦】 出穂期後5~8日頃

【小麦】 出穂期後10~13日頃

※ 出穂期の予想は、表2を参照願います。

### 出穂期、穂揃期の判断

麦類の出穂とは、**芒を除く穂の本体**が顔を出した状態(写真の丸印の状態)です!



- ★ ほ場の出穂期とは、全茎数の4~5割が出穂した(写真の丸印になった)日です。
- ★ ほ場の穂揃期とは、全茎数の8~9割が出穂した(写真の丸印になった)日です。(穂揃期は、出穂期の1~2日後)

## 1か月予報 (4/14~5/13) 仙台管区气象台 4月12日発表

天気は数日の周期で変わってでしょう。  
平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

<気温経過の各階級の確率(%)>

【気温】 20 30 50

【降水量】 20 40 40

【日照時間】 30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

1週目 20 50 30

2週目 20 30 50

3~4週目 20 40 40

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い